

(16) パン・めん用にと広範囲に －ハード・レッド・ウィンター (HRW) －

アメリカ合衆国産秋まき小麦銘柄品種です。同国で最も生産量が多く、アメリカ中央南部のカンザス州が全体の3割と最も生産量が多く、オクラホマ、テキサス、コロラド、ネブラスカの順に続き、これら5州で全HRW生産量の8割以上を占めています。モンタナ、サウスダコタ、カリフォルニア、ワシントン、アイダホの各州でも一部生産されます。

世界各地で生産される硬質秋まき小麦の中では、品質が良く、蛋白含量が13.0% (ハイ・プロ) のものを、日本ではカナダやアメリカの春まき小麦と配合し、パン用粉原料として使用しています。また、蛋白含量11.5～13% (セミ・ハード) ものは準強力粉として、製めん用、中華めん (ラーメン) 用などその用途は広範囲にわたっています。

HRWの生産量は、アメリカ合衆国の小麦総生産量のほぼ50%を占めており、日本ではハイ・プロ、セミ・ハードそれにオーディナリー (蛋白含量を指定しないもので、通常10.0%前後) の3種類合計で、毎年120万トン程度輸入しています。日本には、ワシントン州のシアトル、オレゴン州のポートランドかテキサス州のヒューストンへ貨車で運ばれ船積みされます。

HRWの構成品種は、大戦後はPawnee、Comanche、Triumphといった品種が主力でしたが、近年ではScout、Bison、EagleからNewton、Arkan、Dodgeを経て、現在では各州ごとに異なった品種が栽培されており、カンザス州ではKarl、TAM107、2163、Ike、コロラド州ではTAM107、ネブラスカ州ではArapahoe、モンタナ州ではNeeley、Rocky、Tiber、Redwir、アイダホ州ではWestonが主要品種です。このうちカンザス州では、TAM107、2163を品質に欠点があり好ましくない品種とし、Jagger、AGSECO-7853、Eagleなどを品質の優れた品種として、生産者に啓蒙しています。これらの品種中、Karlは従来品種に比べてかなり短稈、多収であるうえ、蛋白含量が高く製パン性が良好であるとされています。これが事実なら、育種家が夢見てきた収量と品質の逆相関を打破し、農家と製粉会社の双方から喜ばれる画期的な品種ということが出来ます。

は種は、9月から始まり10月中～下旬ではほ終了します。出穂は5月から6月上旬で、収穫期は南部の早い地域で6月中～下旬に始まり、7月には最盛期を迎えます。その後次第に北の州に向かって移ってゆき、最も遅いモンタナ州でも8月末には収穫が完了します。

< 桑原 達雄 >